

桶川市立朝日小学校の食物アレルギー対応の概略

① 学校給食の概要

給食数 617名 (児童数 576名、職員数 41名)
 完全給食 (米飯 週3回、パン 週1回、麺 週1回)
 調理形態 単独校調理方式 調理は民間委託 (調理員数 10名、内臨時職員 8名)
 アレルギー対応食についての調理員の増員はなし
 アレルギー対応食専用コーナー なし

② 食物アレルギー対応について

学校給食における食物アレルギー対応者 11名
 対応者内訳 (原因食材別)

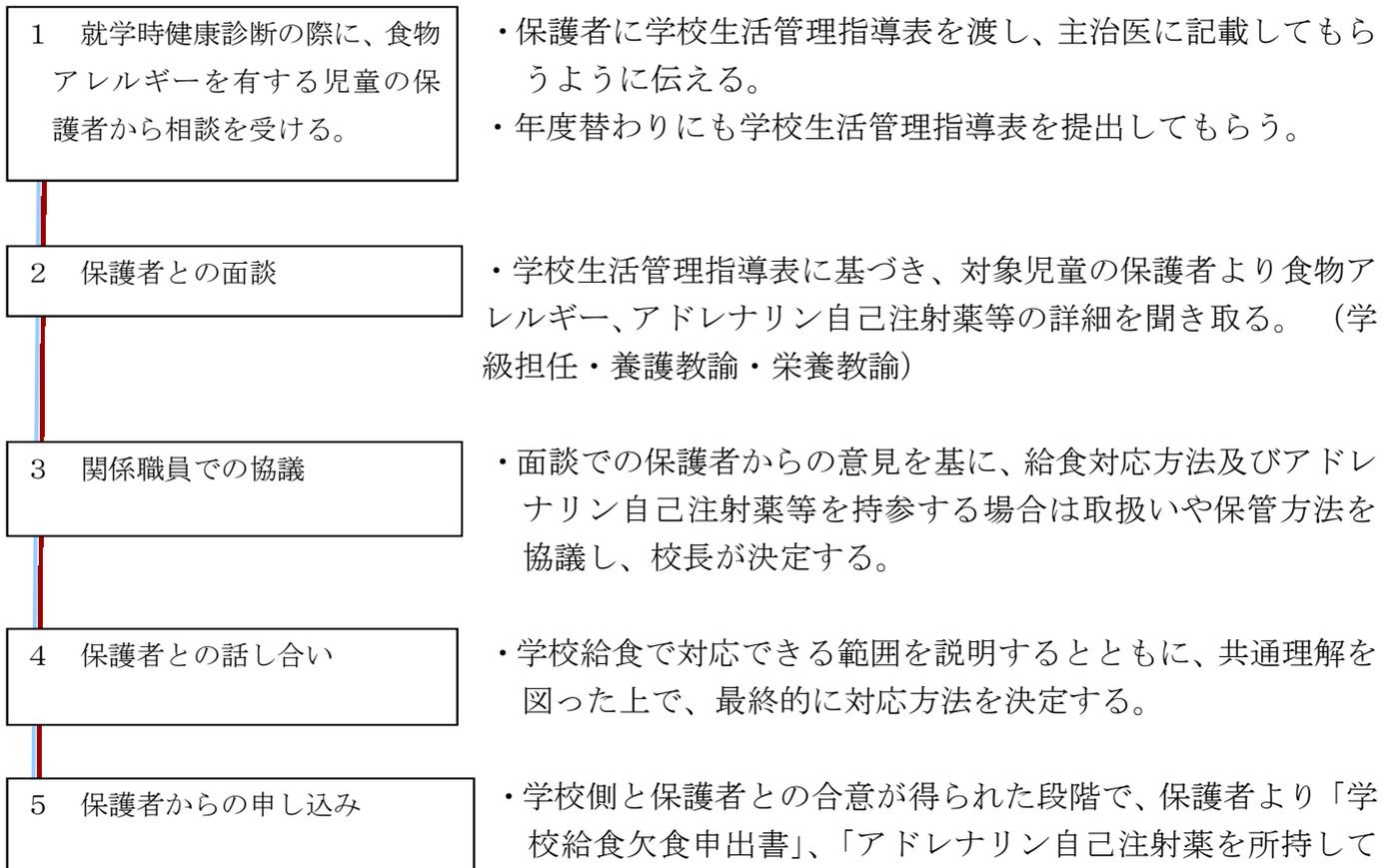
乳 3名	卵 6名	小麦 1名	大豆 2名	魚卵 3名	えび 2名
かに 3名	そば 2名	鶏肉 1名	山芋 1名	果物 1名	

1人が有する食物アレルギーの種類

1種類 (2)名 2種類 (5)名 3種類以上 (4)名

※うち負荷試験を受けた人数 (2)名

③ 食物アレルギー対応食のための手順



6 保護者へ詳細な献立表を配付	<ul style="list-style-type: none"> ・ いる児童生徒の埼玉県消防本部への「情報提供承諾書」を提出してもらう。 ・ 保護者へ材料名が記載された献立表を配付し、喫食可能な料理、不可能な料理、除去が必要な料理をチェックしてもらう。(別表参照)
7 食物アレルギー対応一覧表を作成する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決定した対応を再度、保護者へ提示し、最終確認をする。 ・ 保護者は毎朝対応食の確認を行い、子どもに伝える。
8 食物アレルギー対応一覧表の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員に配付し、対応については事前に共通理解を図る。給食室では再度献立表に間違いがないか朝の打合せ等で確認する。
9 配膳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の児童生徒とは別に配食する。ラップをかけ食札を貼る。食札には、学級名・氏名・アレルゲンを記載。
10 給食の時間における指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容に間違いがないかどうかを確認し、対象児童へ栄養指導及び誤って食べないように注意をする。また、それ以外の児童へも指導を行う。
11 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度初めに「学校生活管理指導表」の提出を求め、症状の変化を確認する。保護者と面談し家庭での様子を聞く。

④ 本年度研修会実施状況

・ 桶川市

対象者	養護教諭	講師	桶川市教育委員会主幹兼指導主事
内容	アドレナリン自己注射薬の使用方法		

・ 本校

対象者	教職員	講師	栄養教諭
内容	食物アレルギー対応について及びアドレナリン自己注射薬キットを活用しての実技講習		

⑤ 課題

- ・ 現在、11名の対応をしているが、人的環境や物理的環境が現状と変わらない場合、食物アレルギー児童が増えると今のような対応が出来なくなる懸念がある。
- ・ 今年度、食物アレルギー対応のマニュアルを作成したが、事故に特化した内容なので、今年度中に見直す。
- ・ 食物アレルギーの専門家を招聘し教職員・保護者に最新の正しい情報提供を行いたい。